

## 「白堊研究Ⅱ」ポスター発表用ループリック評価

	観点	A	B	C	D
ポスターセッションに対する評価	発表態度	自分の研究内容に自信を持ち、楽しく、聞き手とコミュニケーションをとりながら発表している。	聞き手の子を意識した発表ができています。話も聞きやすく、原稿を見ることがない。	ある程度、発表内容は聞き取れるが、原稿を見るなど、自分の研究内容をただ発表するだけになっている。	聞き手のことを考えておらず、発表内容がよく理解できていない。
	研究の内容	独創的で、目を見張る内容が盛り込まれ、非常に面白い研究である。	研究動機や目的が明確である。研究方法、結果とその解析も適切である。科学的根拠に基づいて考察が述べられ、結論が導かれている。	研究方法、実験方法の検討が必要である。結果の解析が十分にされていない。考察についてもう少し検討した方がよい。	研究する価値が見出しにくい。目的と結論が一致しない。十分に研究したと言いきり難い内容である。
	ポスターの見やすさ	ポスターとしての正確性だけでなく、見せるための工夫(独創性)がかなり見られる。	デザイン・見やすさ・図(式)の完成度が高く、申し分ない。	平均的なポスターの形式である。	文字の羅列で見づらい。あるいは、図などを大きく乗せただけで、図を補足する内容がほとんどない。
	質疑応答	全員が、研究内容に関連する十分すぎる知識を持っている。全員が、コミュニケーションやディスカッションを楽しむように質疑応答ができています。	全員が、研究内容に関連する十分な知識を持っている。	研究内容に関連する最低限の知識は有するが、わからない内容を放置している者もいる。	質問に対する答えが返ってこない。あまり知識を持っていない。文献を調べていない。自分の研究内容を理解していない。